

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



## まち・ひと・しごと創生 全力で推進を!

千葉 良秋 (創政会)



### その他のテーマ

- ▶ 企業誘致とその環境整備
- ▶ 公共施設や団地リノベーション
- ▶ 市内循環交通網の整備

#### ◆安定した雇用の創出のために

正規雇用の拡充に向けた取り組みは、**環境経済部長** 市内に住所を有する方を新規に1年以上正規雇用した企業に対し、助成金を交付するなどして正規雇用を促すほか、ふるさとハローワークや就労支援サイト「茶レンジJOBさやま(現「本物づくりのまち 狭山」)」で、

雇用情報の収集と提供を行っている。

また、産業労働センターでは、職業能力開発講座などの開講、ハローワーク所沢との就職面接会、県主催の合同面接会の開催情報提供などを行っている。

#### ◆若い世代の結婚・出産・子育てのために

子ども・子育て支援のワンストップ化に向けた取り組みは、

**総合政策部長** 母子保健型事業(保健センター)、基本型事業(総合子育て支援センター)、特定型事業(保育幼稚園課)の各実施機関が、情報を共有し緊密に連携することで、子育て世代包括支援センターとしての機能を発揮し、妊娠期から切れ目のない支援に取り組んでいる。



## 教育こそ持続可能な 社会の基盤

加賀谷 勉 (公明党)



### その他のテーマ

- ▶ 子ども達一人ひとりと向き合う
- ▶ 「チーム学校」の視点
- ▶ 食品ロスを福祉につなげる

#### ◆子ども達の可能性を最大限開花させる基盤づくり

①学校運営に、地域や外部の人材が関わる「チーム学校」の視点が必要と考えるが、見解は。  
②深刻化する教員の長時間勤務の改善に、どのように取り組んでいるのか。  
③ICTの活用による学校業務の効率化や勤務時間の適正な管理が重要と考えるが、見解は。

**教育長** ①これまでも各小中学校に学校応援団を組織し、学校支援ボランティア、英語活動支援員、部活動外部指導員、図書館ボランティアなど地域の方々が学校支援に当たっているが、今後も、チーム学校の視点から、地域の人材を積極的に活用し、学校運営の充実を図っていききたい。

**学校教育部長** ②学習支援ボランティアや部活動外部指導員などを積極的に活用し、教員の負担軽減を図っているほか、年次休暇の計画的取得の促進やノー残業デー、定時に退庁するふれあいデーの奨励などを実施している。

③今年度から、中学校に校務支援ソフトを導入して、業務の軽減を図っており、次年度以降、小学校にも導入予定。また、9月からタイムカードを導入して、勤務時間の適正な管理を行っていく。



## ひとり親家庭への支援の 強化を!

綿貫 伸子 (公明党)



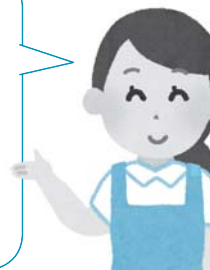
### その他のテーマ

- ▶ DV相談窓口の周知を
- ▶ 母子父子寡婦福祉資金のPRを
- ▶ 養育費確保の推進を

#### ◆ひとり親家庭等日常生活支援事業の導入を

ひとり親家庭等日常生活支援事業は、55.6%の市町村が導入し、低廉な費用で生活支援と子育て支援を提供している。経済的に余裕がないひとり親に対し、支援対策の一環として、ファミリーサポートの利用料を半額にするなどの対策を講じてもらいたいが、見解は。

ひとり親家庭等日常生活支援事業とは、国、県、市で費用を助成し、ホームヘルパーなどを派遣し生活支援と、子育て支援を行う国の制度です。  
1時間あたりの利用料は、児童扶養手当支給水準の家庭では、生活援助は150円、子育て支援は70円、等と所得により設定されています。(厚労省HP参照)



**福祉子ども部長** 狭山市の利用料は一律700円で、さらに30分以内の利用は350円としており、近隣市に比べ利用しやすい料金と考えている。利用料の減額は、ひとり親家庭の利用状況などを調査した上で検討する。

#### ◆ひとり親家庭のための一元的な情報提供

ひとり親家庭向けの冊子「子育て支援のご案内」をさらに周知する必要があるのでは。

**福祉子ども部長** 離婚についての相談や児童扶養手当などの申請、相談など機会を捉えて配布している。また、児童扶養手当の受給者には、内容を更新した新年度版を毎年8月の現況届受領の際に配布している。これらに加え、公式ホームページにも掲載するなどして周知したい。



## 狭山茶ブランドを 守り続けるために

町田 昌弘 (創造)



### その他のテーマ

- ▶ 被災者に寄り添った対応とは

#### ◆狭山市茶業協会とタッグを組み狭山茶振興を

①さらなる消費拡大策の実施が必要では。  
②二番茶の有効活用に対する考えは。  
**環境経済部長** ①国の地方創生加速化交付金を活用し、狭山市産狭山茶のブランド化事業に取り組んでいる。今後も狭山市産狭山茶を広くPRし、狭山茶の消費拡大に取り組むことで、狭山市のイメージアップにもつなげていきたい。  
②一番茶や抹茶より二番茶のほうがカテキンやビタミンCの含有率が高いという分析結果から、風邪などの予防効果を期待し、うがい用の粉末茶を製造、市内の小中学校4校に配布した。現在、学校の意見も参考に、商品化に向けた研究を進めており、今後も二番茶の特性を生かした商品開発に狭山市茶業協会と連携し取り組んでいく。

#### ◆大災害に対する市の備え

土のうステーションの設置が必要では。  
**都市建設部長** 浸水が発生している状況下では、市から各家庭に土のうを迅速に提供することは難しい。現在、地域の拠点となる地区センターなどに土のうを備蓄しているため、土のうステーションの設置は予定していない。



新茶と花いっぱいまつりは、絶好のPRの場

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。  
04-2953-1111 内線3313